

今月のテーマは…

歴史公園の魅力アップで 観光客を誘致



かつて西尾城があった場所にある歴史公園に、歴史を感じられる本丸丑寅櫓や鑿石門などを整備しています。また、茶室を備えた旧近衛邸や尚古荘では抹茶を楽しめます。西尾を代表する観光スポットとして多くの観光客に訪れてもらうため、さらなる魅力アップを目指します。

— 歴史公園を訪れる観光客が増えているそうですね。

市長 旧近衛邸と尚古荘の利用者が平成27年と28年に7万人を超えるなど、**観光客が増加**しています。全国的な「お城ブーム」が続く中、26年に二之丸天守台の石垣や土塁などを整備したことが要因だと考えます。

— 現在、歴史公園は工事中のようですが何を造っているのですか。

市長 現在、歴史公園の北西にある二之丸跡に木造の丑寅櫓と、丑寅櫓と天守台を結ぶ**長さ約50メートルの土塀を建設**しています。本物志向が強い最近の観光客に魅力を感じてもらうため、できる限り史実に近い形で、木造で復元しています。

— 今回復元する二之丸丑寅櫓と土塀の特徴は何ですか。

市長 二之丸丑寅櫓には、外から見ると2階建てに見えるのに、内部は3階建てだったという特徴があります。土塀の特徴は、途中2か所に「屏風折れ」という折れ目があったことです。屏風折れの土塀は江戸時代に西尾藩が幕府へ提出した『正保城絵図』に描かれていて、今回の工事で復元します。**全国的にも珍しい**ため、完成すれば新たな観光スポットとして注目を

浴びると考えています。

— 歴史公園の魅力をさらに高めるための計画はありますか。

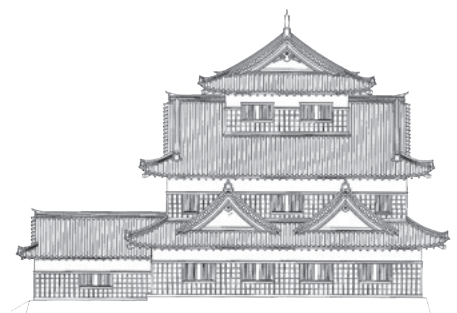
市長 今後は西尾城と城下町を一体的に再開発するための『西尾城跡保存活用計画』を作成し、**文化財や史跡を保存するだけでなく、観光資源として活用**していきます。また、かつてこの地域を治めた吉良氏が、西尾に進出するきっかけとなった「承久の乱から800年」となり、同時に西尾市が合併10周年を迎える3年度に「吉良氏800年祭」を開催します。城跡の整備に加え、イベントを開催し、最近話題の御城印を作成するなど、観光客を増やしていきます。



二之丸丑寅櫓・土塀の完成後のイメージ図

— 歴史公園は将来どうなっていますか。

市長 現在、**今後30年以内の天守の復元を目指しています**。明治時代の初めまで二之丸にあった西尾城の天守は、独創的な構造をしていました。天守が復元されれば観光の目玉となり、市民の皆さんにとっても、まちへの愛着や誇りが高まるシンボルになります。二之丸丑寅櫓や土塀と同じく、できるだけ史実に近く、木造で復元したいと考えています。復元するには、多額の資金が必要です。ふるさと応援寄付金などを活用するとともに、天守の歴史的価値をアピールして、復元への機運を高めていきます。



西尾城天守の復元図

詳しくは文化振興課 (☎56・6690)へ。



ミヶ根山スカイライン イルミネーション

眼下に広がる夜景とイルミネーション、星空とのコラボレーションをお楽しみください。

時 11月15日(金)～2年3月15日(日) 午後5時～7時50分

場 ミヶ根山スカイライン山頂駐車場周辺

※ミヶ根山スカイラインは有料道路です。二輪車280円、軽・普通自動車420円。午後8時～翌午前8時は通行できません。

問 商工観光課 (☎65・2169)



星が^{さんさん}燦々！ 星空のロマン 星空ナイトツアー

時 ①11月18日(月) ②12月22日(日) 午後6時50分～9時15分

集合場所 吉良サンライズパーク (吉良町)

内 愛知こどもの国にバスで移動し、天体望遠鏡で星空を観察。アンドロメダやペガサス座、オリオン座、牡牛座などを観察します。暗闇の中での謎解きや、夜景見学もできます。

定 各回40人 (先着)

¥ 1,000円

申問 ①は11月15日(金)まで、②は12月19日(木)までに、直接または電話で西尾市観光協会 (☎65・2404) へ。土・日曜日、祝日は西尾観光案内所 (☎57・7840/西尾コンベンションホール内) へ。同協会ホームページからも申し込みます。



市観光協会
ホームページ



ワクワク給食プロジェクト 参加店舗を募集

イカフライのレモン煮、揚げパン、ソフト麺…。あなたの思いの給食は何ですか。そんな懐かしい給食、人気の給食を市内の飲食店などで食べられる「ワクワク給食プロジェクト」がスタートします。

西尾市の人気給食メニューを販売していただける店舗を募集します。たくさんのご応募お待ちしております。

対 市内の飲食店

申問 直接または電話で商工観光課 (☎65・2168) へ。

